

平成29年度 八洲学園大学事業計画書

1. 施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町7-42	045-313-5454	045-324-6961

2. 学生の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成29年3月1日現在）

設置学部	学科	入学定員 (人)	編入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③科目等 履修生数 (人)	④特修生数 (人)	収容率 (%) ②÷①×100
生涯学習学部	生涯学習学科	800	400	4,000	1,311	923	18	32.7

(2) 平成29年度入学者数・卒業者数・退学者数・除籍者数予測一覧（平成29年度予算予測に基づき記入）

	入学者数	編入学者数	卒業者数（終了者数含）	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	40	230	130	30	90	20
科目等履修生	240	—	120	20	10	90
特修生	3	—	—	2	—	

3. 教職員関係

(1) 平成29年度管理職の概要

職名	氏名	備考（新任・留任等）
学 長	和田 公人	留任
事務局長	鈴木 淳	留任
事務局次長 教務課長	金児 貴弘	留任
総務課長	佐藤 明由美	留任
学生支援センター長 入学支援相談センター長	林 正隆	留任

(2) 平成29年度教職員の概要

		合計（人）
教員	本務	17
	非常勤	49
職員	本務	5
	兼務	9

平均年齢は、教員52.5才、職員42.3才である。

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

平成28年度に続き、ウェブを中心とした広報、科目の充実、学生個々の状況に応じた細やかな対応、就職支援による学生満足度の向上などにより、以下の目標達成を目指す（前年度比110%）。なお、当初予算においては前年度比90%としている。

- ・入学者数660名（科目等履修生を含む）
- ・学生生徒等学納金収入175,477,000円
- ・空き教室の貸出事業、公開講座、教員免許状更新講習により、合計13,836,000円（貸出事業10,062,000円、公開講座2,554,000円、教員免許状更新講習1,220,000円）

また、平成29年度は公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の受審年にあたる。学長を中心に教職員が協働し適切に対応する。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

年度	事項	概要	進捗状況
23～	正科生の入学促進	4学期制による出願機会の拡大、サイトのスマートフォン対応等による若年者への広報強化などにより、正科生（特に1年次入学、学士取得編入学）の入学者を増やす。	平成23年度より「正科生（資格・リカレント編入学）」導入。 平成26年度より4学期制導入。 平成26年度よりスマートフォン対応ページを開設。 平成27年度後半より対象者別「学習のてびき」作成。 平成27年度後半より正科生向けリーフレット作成。 平成27年度後半より通信制高校に資料送付。 平成28年度より専門学校に資料送付。

23～	e-learning system “eLy” 授業配信 機能と動画教材の 見直し	SOBA LMS system を公開講座、教員免許 状更新講習新に導入し、全面移行への 準備を進める。	平成27年度より SOBA LMS system を公開講座に導入。 平成28年度より SOBA LMS system を教員免許状更新講習に導 入。 平成28年度後半より SOBA LMS system の本格導入に向けた検 討を開始。
24～	ネットワーク構築 計画の実施	他の学校・機関・団体との互恵的ネット ワークの企画、構築、運営を行う。	平成24年度より西九州大学、東京未来大学と提携。 平成25年度より附属図書館を一般開放。 平成25年度より一般社団法人横浜みなとみらい21と連携。 平成26年度より丸善株式会社と提携。 平成27年度より株式会社ヴィアックス、株式会社図書館流通 センターと提携。 平成29年度に横浜市中心図書館との連携講座を開講予定。
24～	科目の充実	過去の履修状況、学生からの要望、公 開講座実績などを参考に、魅力ある科 目の新設をはかる。また、既存科目も 含め科目の見せ方を工夫することで履 修促進につなげる。	平成27年度よりテーマ別、ライフスタイル別の科目案内「科 目シリーズ」設定。 平成27年度に「初年次セミナー」ほか新設。 平成27年度より科目評価アンケート実施開始。 平成28年度に「3年次セミナー」ほか新設。 平成29年度に「レポートの書き方入門」ほか新設。
24～	公開講座の充実	図書館司書関連の講座開講に注力し、 100講座を最低ラインにその他、多 彩なラインナップの公開講座とする。 入学や履修の促進にもつなげる。	平成26年度より正規科目の一部を一般の方が受講できる「開 放授業」講座を開始。 平成27年度より図書館司書向け講座を開設。 平成28年度より八洲学園大学国際高等学校との提携を開始。 平成28年度より株式会社キャリアパワーとの提携を開始。 平成28年度後半より受講者への関連講座に関するメール配 信を開始。

25～	履修促進	学生支援センターにてメールや説明会による履修促進の呼び掛けを行い、履修登録数を増やす。特に、入学後2年目以降の履修登録率の向上、資格取得後の追加履修増を目指す。	平成25年度より支援センター説明・交流会実施。 平成26年度より新入生へのフォロー強化。 平成27年度後半より資格希望者向け「学習のてびき」に追加履修の案内を掲載。 平成28年度より履修登録シミュレーションに学習計画の案内を追加。
26～	スマートフォン対応ページの充実	スマートフォンに対応したページを充実させる。	平成26年度にトップ、司書・学芸員トップ、資料請求、資料ダウンロード、募集要項（一部）、教員一覧ページを開設。 平成27年度にレスポンスデザインへ移行し、新着ニュース、学習方法（一部）、アクセスマップ、学費、出願方法について、八洲学園大学とは、取得できる国家資格、資料請求、FAQ、サイトマップページを開設。 平成28年度に司書（全）、学部学科案内、目的から探す各ページ、募集要項（全）、学習方法（全）、学芸員（一部）、司書教諭トップ、社会教育主事トップ、施設利用トップ、まるわかりガイド、オンライン入学説明会、在学生・卒業生の声、科目シリーズトップ、支援センター・教員ブログ、教員紹介、公開講座を開設。 平成29年度に学芸員（全）、社会教育主事（全）、司書教諭（全）、科目シリーズ、資格、教員免許状更新講習ページを開設予定。 平成30年度に支援センター情報ブログをリニューアル予定。

26～	教員免許状更新講習の業務改善	受講者数増加に対応するための業務改善を行う。また、教員免許状更新講習受講者に広報を行い入学促進や公開講座受講につなげる。	平成27年度より修了証送付時に社会教育主事および司書教諭のリーフレット同封。 平成28年度より SOBA LMS system 導入による効率化を実現。 平成28年度より受験票に公開講座のリーフレットを同封。 平成29年度より講習内容を大幅に変更。
26～	平成26年度学校法人運営調査の指摘事項への対応	平成26年度学校法人運営調査の指摘事項に対応する。	平成29年7月7日までに改善状況報告書を提出。
27～	休眠学生への対応	学生サポートの効率化のため、休眠学生のうち学習再開の可能性が低い者を選別して除籍処理を行う。対象者のデポジット（預かり金）についても確実な処理を行う。	平成27年度後半より除籍処理開始。 平成28年度は対象者の状況調査を行い、平成29年度より実施する。
28～	空き教室の貸出事業の業務改善	利用者増加に対応するための業務改善を行う。	平成28年度に利用料を改定。 平成29年度予約より新しい受付フォームを導入。利用前日のメールアラート設定を追加。
28～	3つのポリシーの見直し及びPDC Aサイクルの確立	3つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）を見直し、PDC Aサイクルに基づき教育改革を進める。	平成28年度後半より3つのポリシー見直しを開始。 平成29年度後半より新ポリシーの運用開始予定。 平成29年度より新しいポリシーに基づいた、成績評価基準（GPA制度等）導入、カリキュラム編成の見直し、カリキュラムマップ導入等の検討を開始予定。
29～	大学機関別認証評価の受審と受審後の対応	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審する。	平成29年6月末日までに「自己点検評価書」を提出。 平成29年10月18～20日に実地調査。

29～	履修証明プログラムまたは科目修得認証の新設	科目廃止等により終了した旧履修証明プログラム及び科目修得認証に代わる新たな認証を新設する。	平成29年度より教務委員会を中心に新設を検討予定。
29～	シラバス改善	全科目のシラバスが文部科学省の示す留意点を満たすよう改善する。	平成29年度よりシラバス様式の見直し等を開始予定。

(3) 施設・設備の整備計画

エレベータ戸開走行保護装置および地震時管制運転装置を設置する。その他、横浜ビルの老朽化（築29年）に伴う修繕・調査（誘導灯・非常照明交換工事、連結送水管耐圧試験、建物総合診断等）を行う。

(4) 授業料変更等

なし

(5) 卒業者数、就業者数、学位授与数の見込み（卒業者にはリカレント修了者も含む、就業者には在学時からの就業者も含む）

	卒業者数/終了者	就業者数	学位授与数の見込み
正科生	130	100	35
科目等履修生	150	90	—

(6) 学生の就職、進学の様況

平成24年度後半より「キャリアコーディネイト室」を設置し、就転職を希望する在学生・卒業生へ就転職セミナーの実施や、メールでの定期的な就職情報配信を行っている。平成28年度はキャリアコーディネイト室の支援により16名の就転職が決定した（3月4日現在）。

大半が社会人学生であることから、既に就職している者も多く必ずしも卒業と同時に就転職を希望するとは限らないが、「キャリアコーディネイト室」の活動が広報に結びつき、入学促進にもつながっている。

(7) 教職員の採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
28	退職予定：専任教員	教授1名（3月31日付）
29	採用予定：専任教員	専任講師2名（4月1日付）
29	採用予定：非常勤講師	非常勤講師2名（4月1日付）

(8) 今後の課題

入学者数・履修者数ともに平成28年度は平成22年度の水準まで回復したが、依然として国家資格取得目的の正科生（資格・リカレント編入学）及び科目等履修生の割合が高く、正科生（1年次入学）及び正科生（学士取得編入学）の増加が課題である。上記4（2）に挙げた計画を推進することにより課題解決に努めていく。

5. 財務の概要

前回の認証評価で指摘を受けた財務状況の改善が引き続き最重要課題であり、当初予算を実現するため、収入と支出のバランスを注意深くチェックしながらコスト削減と各分野の収入増を同時に推進していく。また、築後29年になる八洲学園大学本館を維持するため、大規模修繕の計画およびその原資となる修繕積立金の計上も今後の課題である。